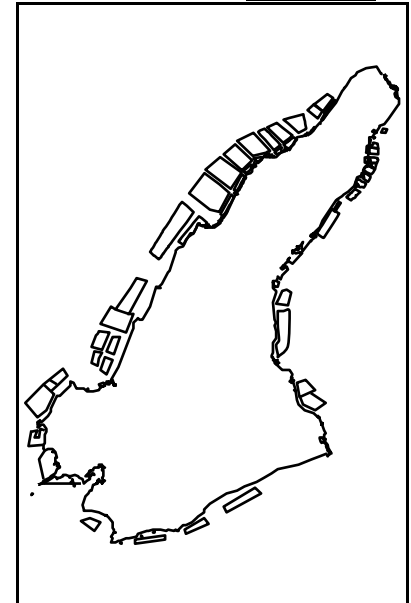


前回 (2/27) 調査同様に、淡路周辺海域全般に珪藻はほとんど確認されませんが、播磨灘・大阪湾とも栄養塩の低い状況が続いており、窒素は淡路西浦及び東浦で概ね $1 \mu\text{g-at/L}$ 台、淡路南浦で $2 \mu\text{g-at/L}$ 台の値となっています。

(珪藻) 珪藻は淡路周辺海域全域においてほとんど確認されない。播磨灘・大阪湾とも全体的に低栄養塩状況にあり、それぞれに面する西浦・東浦漁場で窒素は $1 \mu\text{g-at/L}$ 台と低い。また淡路南浦漁場においても窒素は漸減傾向にある。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	2.0	1.6	1.8	0.9
	リン	0.37	0.30	0.23	0.15
西浦地先	窒素	1.9	1.1	2.0	3.6
	リン	0.41	0.41	0.30	0.31
南浦地先	窒素	2.8	2.1	3.2	3.0
	リン	0.41	0.35	0.38	0.35

(2/27)

(3/7)

栄養塩 (窒素) 図

2020年 3月 9日調査

